

# めぐみ厚生センター センターだより

第 314 号

発行 2009年11月16日

佐賀市緑小路1-3

社会福祉法人

めぐみ厚生センター

めぐみ園 0952(34)7722

富士学園 0952(63)0107

ワイズ富士 0952(51)0063

発行者 栗林 恵一  
事務局 0952(25)2797  
印刷所 (株)古川総合印刷

わたしが富士学園の存在を始めて知ったのは二十数年前のことです。そのころわたしは大学生で四国にある徳島教会に通っていました。当時徳島教会の牧師は久野牧先生で、先生が夏休みに高校生や青年たちを富士学園のワークキャンプに連れてきてくださったのが最初の出会いでした。今も続いている西宮中央教会が行っているワークキャンプと一緒に参加させてもらい、数日間、富士学園で働かせていただきました。徳島からフェリーに乗って小倉に着き、そこから列車で佐賀まで来てバスに乗つたようになります。富士学園に着いたとき、「ずいぶん遠いところまで来たなあ」と思ったのを覚えていました。しかし、富士学園で過ごした数日間は、今思い返しても楽しい、とても大切なものとなりました。

それでも、障がいのある方がわりにいなかつたわけではありません。しかし、実際は自分の身近な存在として意識してはいなかつたと思います。

## 見えていなかつた人たちへのまなざしが開かれる時



福岡筑紫野教会牧師 藤田英夫

なぜなら、初めて富士学園を訪れて利用の方々とお会いしたとき、どことなく違う世界に入り込んだような感じにとらわれたからです。それまで「普通に」暮らしてきたわたしにとつて、障がいのある方々は全くといっていいほど視野に入つてこない存在でした。そのため、富士学園にやつてきた最初の頃は何をするのもおつかなびつくりだつたと思います。どう声をかければいいのか分からぬ。一緒にいて何をすればいいのか分からぬ。一緒に仕事をしたり食事をしたりしながらも、そんな不安を抱えていました。

その後もわたしはいろんな人に導かれながら、ハンセン病の療養所に住んでいる人たちなど、それまで「見えていなかつた」人たちと出会つてしましました。そのことがわたし自身を養い、育ててくれたように思います。その最初の扉を開いてくれたのが、二十数年前に過ごした富士学園での何日かでした。この原稿を依頼され、改めてそのことを思い出し、感謝を新たにしています。

ですが、数日間寝泊まりし、同じ時間と共にしていく中で、自分がそこにいることに何の違和感も覚えなくなつていきました。できることはみな違うけれど、みな同じように怒るし、笑うし、泣くし、喜びます。できないことは助けてもらながら、みなで一緒に暮らしています。わたしもその交わりの輪の中に入らせてもらい、その輪を





創立59年目記念礼拝

## 創立記念礼拝

十月一日、めぐみ厚生センターの創立を祝い、富権史朗牧師による記念礼拝が行なわれました。

礼拝では、富権史朗牧師よりお説教やご祈祷を頂き皆で讃美歌を合唱しました。

創立五十九年の長い歴史を支えられてきたことに皆で感謝し祈りを捧げました。同日、創立記念礼拝後にブレー・ディが予定されていましたが雨の為、中止となり残念でした。来年を楽しみに…。

## めぐみ園

十月十日、西九州大学短期大学生活福祉学科のご招待で第九回「大きくなれ 友だちの輪」のイベントに利用者五名、職員一名参加させていただきました。



めぐみ園

は今回二回目の参加で、いつも練習している

まま『きよしのズンドコ節』  
『タキオのソーラン節』  
の二曲の踊りを披露し、とてもあたたかい拍手をもらいました。

## 踊り披露

またゲームや踊りを学生の皆さん、招待をうけた他の施設、高校生の皆さんと一緒にを行い、楽しいふれあいの時を持つことができました。学生の皆さん気が持ちを一つにした手話コーラスを披露され、手の動きが皆さんびったり合つていて感動を受けました。利用者の中には感動して涙を流される方もいらっしゃいました。

最後に帰る際も学生の皆さんが笑顔で手を振つて見送りをしていただき、本当にありがとうございました。

## 救急法講習会

十月十五日、めぐみ園東活動棟にて、佐賀広域消防局の方々に来て頂き急救法の研修が開催されました。心肺蘇生法についての説明を受けた後、実際にAEDを使用し、一分一秒を争う命の危機に冷静に対応できるようとに、真剣な眼差しで研修に取り組んでいました。

改めて、"命の大切さ" を知る良い機会でした。



熱心に説明を聞いた後は実際に…

## 残った椅子はどこかな



大きく口を開けて！



さしく、歯磨きの仕方を教えていただきました。ありがとうございました。どうございました。

## 歯科臨床実習

十月二十日、佐賀歯科衛生専門学校から歯科医師・歯科衛生士・専門学校生らが来園されました。午前中は秋晴れの下、運動場で利用者の方と一緒に「椅子取りゲーム・玉入れ・風船割り・ターゲット」といった競技で身体を動かし、楽しい時間を過ごしました。

午後からは、本来の歯科臨床実習が四班に分かれて行なわれました。上手に磨けている方やなかなか自分では磨けない方がいらっしゃいましたが、最後は利用者さん一人ひとりに丁寧にやさしく、歯磨きの仕方を教えていただきました。ありがとうございました。どうございました。

皆様お手柔らかに…!!



秋晴れの下、ふれあいフェスタ二〇〇九が開催されました。今年は利用者の方々の体力に合わせ、レクリエーションを中心とした種目を行いました。玉入れや応援合戦など、皆様思い思い楽しんでおられる様子でした。新型インフルエンザ対策のため、ご家族・ご来賓の方々には参加をご遠慮頂くことなり、大変ご心配をお掛け致しました。お陰様で利用者の方々には怪我も病気もなく、健やかに秋の日を過ごす事ができましたことをここにご報告致します。

## 元気に！スポーツの秋

ふれあいフェスタ二〇〇九

## 富士学園

十月に下関・門司港方面へ旅行に出かけました。

## ふれあい旅行

福岡医療福祉大学四年  
下村奈留美

閑門橋を渡り、下関水族館（海響館）



ハイポーズで下関のシンボルであるフグ等が泳いでいる様子を見ました。

その後閑門

山沿いを少し奥に入ると、思い出の富士学園があります。たつた八日間の実習でしたが、私にとっては学ぶものが多く実りあるものとなりました。職員の皆様は、どんなに忙しいときでもひとつひとつの質問に真剣に答えていただきました。その姿勢は利用者の皆様の支援にもつながるもので、同じ知的障害者に関わる私にとっては尊敬すべき姿勢でした。

また、初日の緊張した心を和らげてくれたものは利用者の皆様の温かい笑顔です。昔からの友人のように話しかけていただいた時、ここで実習は頑張ると確信しました。そして、充実した時間を過ごす事ができました。

実習最後の昼食の時間、これまで一度も会話をすることができない中、利用者のかたが、ふいに顔を上げ「今日で最後かね。」とぼつり・・・。その瞬間、理由はわからないのですが、皆様と「共にいきた」実感がわいてきました。

短い期間でしたが、今回学んだ事を活かしていきます。富士学園の皆様、ありがとうございました。



旧門司税関前で

海峡を眼下に見下ろす「ふくの関」にてふぐさしゃふぐちりを頂きました。最後に門司港レトロ散策と買物を楽しみました。

福岡方面（福岡タワー見学）の旅行も十一月に計画されています。



九月二十六日秋晴れの下、ウイズ富士利用者・ご家族の皆様総勢七十七名で久し振りの一泊ふれあい旅行に行つきました。車内では作業中の表情とは違いともリラックスされた笑顔や笑い声が響いていました。

最初にスッポンと蜂蜜で出来たたくさん行きスッポンと蜂蜜で出来たたくさん商品を見た後、サッポロビール工場へ。工場見学後は出来たてのビールを堪能。その後別府地獄巡りを楽しみました。

夜は宴会が開

かれ大分名物を前に話も弾みます。

疲れを別府温泉で癒されていました。翌日は湯布院散策をして樂しました。

## ウイズ富士

## 久しぶりの一泊旅行



賑やかな時

を過ごした後

は皆様一日の

疲れを別府温

泉で癒されていました。翌日は湯布院散策をして樂しました。

